



大滝ダム建設に伴って現在地に遷座した丹生川上神社
上社の拝殿 川上村迫で



丹生川上神社は、67

5(天武天皇4)年の創建とされ、古来より祈雨止雨の社として朝廷から重んじられました。平安時代の「延喜式神名帳」に記されましたが、室町時代後期には所在不明に。しかし、明治大正時代に現在の社(川上村)、中社(東吉野村)、

ダム湖見下ろす龍神の社

丹生川上神社 上社 (川上村)



と由緒があることが順次

(住所) 川上村迫869の1

(祭神) 高麗大神

(交通) 近鉄大和上市駅からバスで「ホテル杉の湯」停留所まで

「ホテル杉の湯」停留所まで

約30分。徒歩約10分

(拝観) 自由

(駐車場) 有り

(電話) 0746・52・0733

上社 (川上村)

確認され、1952(昭和27)年に別々の宗教学人として独立しました。

上社は、水を掌握する龍神である高麗大神がご祭神です。大滝ダム建設に伴い、1998年に高台に遷座しました。その際、旧社地で宮の平遺

宮遙拝所」が設けられ、

跡(縄文時代)が発掘され、細長い石棒(長さ30センチ前後)が10本以上見つかり、縄文時代中期末の後期初め(約4000年前)の祭祀跡とみられています。

現在の拝殿、本殿がある境内には、遷座前の旧社地を遠くから拜む「元宮遙拝所」が設けられ、

平安時代の敷石遺構が旧社地から移転・復元されています。

年間神事は、古くからの10月の例大祭に加えて、98年の遷座を祝う春季大祭も3月に催されます。ダム湖「おたき龍神湖」を見下ろす場所にあるため「天空の社」と呼ばれており、龍神総本宮として新たな伝統を築いています。

(奈良まほろばソムリエの会員 柳原恵子)